

# 各賞表彰(概要)

詳細は Web サイト ([http://www.ipsj.or.jp/award/sho\\_index.html](http://www.ipsj.or.jp/award/sho_index.html)) をご覧ください

## 第 76 回全国大会 大会優秀賞・大会奨励賞の表彰

去る 2014 年 3 月 11 日～13 日に東京電機大学・東京千住キャンパスにおいて開催いたしました第 76 回全国大会の大会優秀賞・大会奨励賞は「大会優秀賞・大会奨励賞候補者選定手続き」規程に基づき、下記の通り受賞者を決定しました。

### 【大会優秀賞】

- 「デジタルコンテンツ視聴に関する大学生の実態調査—著作権侵害に対する一考察—」  
稲葉利江子君
- 「分散協調 M2M システムアーキテクチャの提案」  
北上 眞二君
- 「国内 SSL サイトにおける証明書 FQDN ミスマッチ状況等の可視化」  
須賀 祐治君
- 「注視点情報を用いた確率的ソフトウェアキーボード入力方式」  
萩谷 俊幸君
- 「ロボットによる描画運動発達モデルと軌道の重み付き区間認識・学習を利用した精度向上」  
望月 敬太君

### 【大会奨励賞】

- 「集客施設の防犯カメラ映像を利用した地震動映像アーカイブシステムの構築」  
東 宏樹君
- 「主観的な実力の見積もりを訂正する学習成果可視化システムの提案」  
大谷 拓也君
- 「粒子フィルタを利用した都市高速道路における潜在的ランプ間 OD 交通量の推定」  
小篠 耕平君

- 「検索可能暗号を高速化するための簡潔データ構造を用いた索引手法」  
北村 優汰君
- 「家庭用エアコン向け間取り検出技術」  
小松 佑人君
- 「時間変化に伴うトピックの発生や消滅も考慮したトピックモデルに関する一検討」  
佐々木謙太郎君
- 「授業参加のきっかけ作りを支援する挙手ロボットの開発」  
澤 菜々美君
- 「複数問い合わせ処理のワークロードに着目した SSD を用いたデータベースの最適化」  
鈴木 恵介君
- 「仮想マシンモニタにおけるリアルタイム通信を保証する仮想 NIC の研究」  
鈴木 健一君
- 「消費電力ログと状況ログを用いた節電行動の定量化とオフィス環境における個人の貢献量の評価」  
高橋 慶多君
- 「当事者のプライバシーを考慮したログの保管とその監査について」  
日比野 歩君
- 「乗降者数データと運行実績データを用いたバス到着時刻予測」  
前川 裕一君
- 「S-CTRNN を用いた複数時系列パターンの記憶学習」  
村田 真悟君
- 「位相限定相関法に基づく動画からの高精度 3 次元復元とその性能評価」  
山尾 創輔君

## New Products

広告

### UCT 6LoWPAN 開発キット



ユーシーテクノロジ株式会社  
TEL 03-5437-2323  
E-mail: [contact@uctec.com](mailto:contact@uctec.com)  
<http://www.uctec.com/>

**UCT Technology**  
Ubiquitous Computing Technology Corporation

UCT 6LoWPAN 開発キットは、920MHz IEEE 802.15.4g および 6LoWPAN に基づく IoT 実現のための統合的な開発キットです。

無線ノード 4 台と、LAN (IPv6) と WPAN (6LoWPAN) を相互接続するためのボーダールータ 1 台からなるキットで、クラウドサービスと IoT とを無線 LAN のような簡単さで相互接続することが可能です。

#### ■ 無線ノード

- 920MHz 無線モジュールを開発基板に搭載。
- 開発基板には無線モジュールの信号を利用しやすいよう基板上に配置、アプリケーション開発やセンサや電子回路の接続が容易です。
- スイッチ ×2, LED ×2, 温度センサを搭載 (いずれも切り離し可能)。
- リアルタイム OS 「μT-Kernel 2.0」を搭載し、高い応答性を実現。
- スレッドモデルに基づく、高度なアプリケーションを実現可能。

#### ■ 6LoWPAN ボーダールータ

- 使いやすい Web 設定画面
- RFC6775 に基づく neighbor discovery 最適化

CONTENTS

**Preface**

**Computer Science Renaissance**

Chong-kwon KIM (The Korean Institute of Information Scientists and Engineers President)

**Special Features**

**Sequel to Common Problems in the Software Engineering Community**

**1058 0. Foreword**

Tomoji KISHI (Waseda Univ.) and Natsuko NODA (Shibaura Institute of Technology)

**1060 1. On the Creation of Common Problems**

Katsuhisa MARUYAMA (Ritsumeikan Univ.) and Naoyasu UBAYASHI (Kyushu Univ.)

**1064 2. Common Problems in Project-based Learning**

Hiroshi IGAKI (Osaka Univ.), Takeshi OKUDA (Nara Institute of Science and Technology), Shintaro HOSOAI (Kyushu Univ.) and Yasuhiro HAYASE (Univ. of Tsukuba)

**1069 3. Short Essays on Common Problems**

Naoyasu UBAYASHI (Kyushu Univ.), Natsuko NODA (Shibaura Institute of Technology), Youzou TAKIZAWA (Ibaraki National College of Technology) and Akira MATSUMOTO (Wakayama Univ.)

**1073 4. Round-Table Talk - Thirty Years of Software Engineering Seen from Common Problems -**

Osamu SHIGO (Tokyo Denki Univ.), Mikio AOYAMA (Nanzan Univ.), Naoyasu UBAYASHI (Kyushu Univ.), Natsuko NODA (Shibaura Institute of Technology) and Tomoji KISHI (Waseda Univ.)

**Special Features**

**The Current Manufacturing - DIY to Production -**

**1080 0. Foreword**

Koji TSUKADA (Future Univ. Hakodate)

**1082 1. Make with Fun : The Engine to Change the World**

Masakazu TAKASU (teamLab Inc.)

**1088 2. Make for Research : Graded Prototyping Methods for Interaction Research**

Youichi KAMIYAMA (Keio Univ.)

**1096 3. Make after Work : Independent R&D between Corporate and Individual**

Akichika TANAKA (Shinamonolab / VITRO)

**1102 4. Make for Business : The Present of Hardware Business**

Takuma IWASA (Cerevo Inc.)

**1108 5. Make Tools to Make : The Case of "konashi", A Device Toolkit for Smartphones**

Shunsuke AOKI (YUKAI Engineering Inc.)

**1114 6. Make Your Dreams : Conquer the Barrier of Hardware Startup**

Yasunori OKAJIMA (I.W. Technology Firm Inc.)

**Article**

**1122 3D Measurement System in the Field**

Minoru NIIMURA (Seikowave Inc.)

**1138 The Next Generation HTTP Streaming Standard DASH**

Mitsuhiro HIRABAYASHI (Sony Corp.)

**Senior Column : Messages on Favorite IT**

**1057 The Word "Jouhoushori"**

Takashi CHIKAYAMA (UHM)

**Series : Pilgrimage to Vintage Computers / Trail Blazers' Recollections of 0's and 1's**

**1130 Oral History : Interview with Yoshiteru Ishii**

Hiroharu ASAHI (Hitachi, Ltd.), Naoya UKAI (Fujitsu Ltd.), Hiroshi HATTA (OKI Consulting Solutions Co., Ltd.) and Akihiko YAMADA (Computer Systems and Media Lab.)

**"Peta-gogy" for Future**

**1147 Why is Programming Education Necessary?**

Yoshitaka TANIKAWA (Chiba Prefectural Yachiyo Higashi High School)

**1148 Major Issues of "Liaison Committee on Human Resource Development for Innovative IT Integration"**

Akinobu SHIGEKI (Japan Information Processing Service Co., Ltd.)

**1152 Certified IT Professional (3) - Accreditation of Certification Schemes at Private Companies -**

Naoki NISHI (Chair of the Committee of the Accreditation of Certification Schemes)

**1128 Biblio Talk**

**1156 The Women's Club of the Editorial Committee of the IPSJ Magazine**

**1158 Conference Report**

読後のご意見をお送りください

本誌では、現在約 100 名の方々に毎号のモニタをお願いしておりますが、より多くの読者の皆さんからのご意見、ご提案をおうかがいし、誌面の充実に役立てていきたいと考えておりますので、毎号巻末に掲載しております所定の用紙または Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html>) をお使いいただき、奮って事務局までお寄せください。

一般社団法人 情報処理学会 会誌編集部 E-mail: editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8375



## 論文誌ジャーナル掲載論文リスト Vol.55 No.9 (Sep. 2014)

### 【特集：特集：新しいリスクに対応するコンピュータセキュリティ技術】

- 特集「新しいリスクに対応するコンピュータセキュリティ技術」の編集にあたって 小川隆一 他
- IT リスク学の提案と最近の動向 佐々木良一 他
- 有用な匿名化データ – 経験からの学習 星野伸明 他
- 時限式 ID ベース暗号 押切 徹 他
- 部分的に小さな法を用いたマルチパーティ計算のビット演算効率化 加藤 遼 他
- Secure and Fast Log Transfer Mechanism for Virtual Machine Masaya Sato 他
- 有価陶磁器製品に対する人工物メトリクス適用のための研究\* 藤川真樹 他
- Transparent Probabilistic Packet Marking Masayuki Okada 他
- HTTP プロキシサーバでの Cookie 挿入によるバックドア通信の検出 加藤雅彦 他
- DNS ハニーポットによる DNS アンプ攻撃の観測 牧田大佑 他
- マルウェア観測のための仮想計算機モニタを用いたシステムコールトレース手法 大月勇人 他
- カーネルスタックの比較によるカーネルルートキット検知手法の提案 池上祐太 他
- Web Workers を用いた多変数公開鍵暗号 Rainbow の並列実装\* 鷺見拓哉 他
- 計算機援用ユーザ認証 兼子拓弥 他
- 素性構造に基づいたアクセス制御モデルの提案 藤田邦彦 他
- SNS におけるセンシティブデータの漏洩検知に基づく公開範囲の設定方式\* 町田史門 他
- 光の反射・吸収特性を利用した撮影画像からの顔検出防止手法 山田隆行 他
- 多次元属性のための匿名データ収集アルゴリズムの提案 清 雄一 他
- Provenance-Based Security Risk Assessment Framework Guillermo Horacio Ramirez Caceres 他

- CC-Case ~コモンライテリア準拠のアシユアランスケースによるセキュリティ要求分析・保証の統合手法 金子朋子 他
- Study On Election Result Risk Model Using Multiagent Simulation Achmad Rully 他
- マイクロブログ中のリスクコミュニケーションに関する有益な意見を自動的に抽出する手法の提案と評価 安藤 駿 他
- プライバシー情報を登録する利用者の安心感の要因に関する調査 奥村香保里 他
- オンラインショッピング時の安心感における情報セキュリティ技術に関する安全とユーザ属性との関係 西岡 大 他

### 【一般論文】

- Matrix Representations of Graphs and their Experimental Comparison for Detecting Non-subgraphs by Eigenvalues † Kaoru Katayama 他
- Parallel hierarchical matrices with adaptive cross approximation on symmetric multiprocessing clusters Akihiro Ida 他
- カメラ間通信を用いた無線マルチビューストリーミング 小寺志保 他
- 参加型センシングにおけるセンシング誤差を考慮したサンプリングレート制御手法\* 倉沢 央 他
- A Study of User Intervention and User Satisfaction in Recommender Systems Yoshinori Hijikata 他
- 知名度の地理的広がりを考慮した実世界スポットの地域局所性推定\* 徳永陽子 他
- 4次元データから特徴領域探索のための2次元可視化 宮村浩子 他
- 曲線骨格モデルによる3次元連続かつ滑らかな木目ソリッドテクスチャの実現 桃井貞美 他
- 切れ目のない複数文字の入力を目指した空中手書きシステムの考案\* 鈴木 慶 他

\* : 推薦論文 Recommended Paper

† : テクニカルノート Technical Note



## 論文誌トランザクション掲載論文リスト (Sep. 2014)

### 【Transactions on Computer Vision and Applications Vol.6】

- A Compensation Method of Motion Features with Regression for Deficient Depth Image Ryo Yumiba 他

### 【論文誌 データベース Vol.7 No.3】

- 半教師ありトピックモデルにより選択した地域特徴語を用いた Twitter ユーザの生活に関わる地域の推定 堂前友貴 他

# 会員の広場

Member's Voice

今月の会員の広場では、7月号へのご意見・ご感想を紹介いたします。まず、巻頭コラム「数学珍答案集」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

- 筆者の素直な一面が伝わって良かった。(匿名希望)
- わざわざこのようなどうでもいい内容を掲載するのはいかがなものか。(柴田直樹)

特別解説「3Dプリンタの社会的問題と法政策の一提言」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

- 技術の社会性が論じられる機会が少ないため良かった。(遠藤直樹)
- 3Dプリンタが日々の生活や創造活動にもたらす明るい可能性ばかり考えてしまうが、事件の発生を考えると、3Dプリンタを使用する組織内でのローカルルールなども積極的に検討していかなければならないと感じた。(匿名希望)
- 5月に問題が起きてからすぐにこの記事が書かれたようで、そのタイムリーな編集が素晴らしいと思いました。(匿名希望)

報告「速報 第3回将棋電王戦」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

- 対局の様子を説明している部分で、業界用語が多くてよく分からなかった。また、将棋プログラムと対戦したプロ棋士の位置づけ(どれくらい強いのか)が分かりにくかった。(匿名希望)

特集「増加する社会インフラを標的としたサイバー攻撃」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

- 「4. 制御システムのセキュリティを対象とした評価・検証技術と標準化動向」
- 紙数の都合があると思うが what ばかりが目立ち、why が述べられていないので読んでいて楽しくない。標準化動向などについて参照したいときにこの記事が

役に立つだろうことを頭に入れて、読むのをやめた。特集としては外せない内容だということは理解できる。(牛島和夫)

特集「量子コンピュータ」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

- 難解であった。もう少し基礎に近い部分を丁寧に説明いただけるとありがたかった。(匿名希望)
- 大変良かった。このような未来に繋がる夢を感じられる特集を期待する。(稲本 康)
- 著者の方々の平易に分かりやすく解説しようという姿勢が感じられました。すっきり分かったわけではありませんが、雰囲気は分かりました。(匿名希望)

## 「1. 量子計算の基礎」

- 全体像を説明する記事が欲しかったです。(匿名希望)

連載「古機巡礼/二進伝心：オールラヒストリー：飯島泰蔵氏インタビュー」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

- 先生の研究に対する情熱がそのまま伝わってきて大いに触発された。(中島隆夫)
- 先生は情報処理学会では活躍されなかったと思う。それにもかかわらず、先生の生い立ち、業績をこのように紹介していただけただけなのは非常に良かった。山内二郎先生がかかわっておられたことを初めて知った。(牛島和夫)
- 先生のスーパーマンぶりに敬服し、ある種の憧れを抱きました。普段は先生方の個人的なヒストリーには興味がないのですが、またこのような記事に出会えることを楽しみにしております。(匿名希望)

解説「情報学を定義する」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

- 企業ニーズと大学の情報工学教育のギャップにあまり触れていないように感じた。(匿名希望)
- 世の中から求められている情報学と「情報学の定義」が乖離しているような気がした。情報学がどちらかというと応用的な実学の面が強いのことを考えると、情報学がどうあるべきかより、世の中が情報学に対して何を求めているかという視点から再定義したほうがよいような気がした。(石井一夫)

教育コーナー「べた語義：SNS といじめ問題に対する高校での教育事例」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■内容が浅い。 (匿名希望)

連載「会誌編集委員会女子部」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■記事の目的が理解できない。 (稲本 康)

■挨拶だけといった印象で「思っていることをズバツと書く」という点では物足りない。 (匿名希望)

■現在までの女性会員の比率推移なども紹介していただけると良いのかなと思いました。 (匿名希望)

会誌の内容や今後取り上げてほしいテーマに関して、以下のようなご意見やご要望をお寄せいただきました。今後の参考にいたします。

■なんと言っても各記事には専門的な内容を書いてもらうようにするべきです。各研究会が任意で寄稿できるようにすればいいと思います。シンポジウムなどの開催報告など DPS 研究会ではニュースレターを発行したりしていますが、そのようなものを会誌に載せればいいのではないのでしょうか。 (柴田直樹)

■ときどき大学で非常勤講師を務めているが、学生から「どんな技術が社会にどんなインパクトを与えるかを教わることが少なすぎる」という声を聞いた。特集を組む場合に社会へのインパクト、技術の社会性などを記述した記事が含まれると良いと考える。 (遠藤直樹)

■学生が興味を持つような分かりやすい話題を提供してほしい。例：コンピュータ・グラフィクス、CFD 最前線、電池、燃料電池車…。 (高木 淳)

■テーマ例：「新入会員の期待と失望」入会 2～3 年の人にアンケートを実施し、有志に本音トークと覆面座談会をお願いしてみたいかでしょうか？ (すでに実施済みかな?) (酒井保良)

■今号は意欲的な特集とタイムリーな《特別解説》で大変良い編集でした。 (匿名希望)

■英語で書かれた記事 (論説、技術開発レポートなど) を毎号最低 1 本掲載してほしい。 (水野光朗)



【本欄担当 高橋ひとみ、中島 悠/会員サービス分野】

これらのコメントは Web 版会員の広場「読者からの声」< URL : <http://www.ipsj.or.jp/magazine/dokusha.html> > にも掲載しています。Web 版では、紙面の制限などのため掲載できなかったコメントも掲載していますので、ぜひ、こちらもご参照ください。会誌や掲載記事に関するご意見・ご感想は学会 Web ページでも受け付けております。今後もよりよい会誌を作るため、ぜひ皆様のお声をお寄せください。

皆様にとって会誌をより役立つものとするため、

・記事に対する感想、意見 ・記事テーマの提案 ・会誌または学会に対する全般的な意見、提言

・その他、情報処理技術についての全般的な意見、提言

など自由なご意見、ご感想をお待ちしております。

なお、「道しるべ」については

<URL : <http://www.ipsj.or.jp/magazine/sippitsu/michishirube.html>> で

これからのテーマ案を募集しており、いただいたご意見をまとめております。

※ ご意見、ご感想を会誌に掲載させていただいた方には薄謝または記念品を進呈いたします。

掲載に際しては、編集の都合上、ご意見に手を加えさせていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いいたします。

<URL : <http://www.ipsj.or.jp/privacypolicy.html>>

応募先 〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F

情報処理学会 会誌編集部門

E-mail : [editj@ipsj.or.jp](mailto:editj@ipsj.or.jp) Fax (03) 3518-8375

<http://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html>

ご意見をお寄せ  
ください!



IPJS カレンダー

開催日	名称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
	会誌「情報処理」56巻表紙デザイン募集 <a href="http://www.ipsj.or.jp/magazine/topics/design-boshu56.html">http://www.ipsj.or.jp/magazine/topics/design-boshu56.html</a>	11月5日(水)		
	デジタルプラクティス「ビッグデータ分析をビジネスに活かす」 特集論文募集 <a href="http://www.ipsj.or.jp/dp/cfp/dp0603s.html">http://www.ipsj.or.jp/dp/cfp/dp0603s.html</a>	11月5日(水)		
	2014年度フェロー候補者推薦募集 <a href="http://www.ipsj.or.jp/topics/fellow_boshu2014.html">http://www.ipsj.or.jp/topics/fellow_boshu2014.html</a>	11月5日(水)		
	論文誌「社会に浸透していくコンピュータセキュリティ技術」 特集への論文募集 <a href="http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/15-V.html">http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/15-V.html</a>	11月28日(金)		
	論文誌「E-Service and Knowledge Management toward Smart Computing Society」特集への論文募集 <a href="http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/15-T.html">http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/15-T.html</a>	12月19日(金)		
9月16日(火)	第156回グラフィクスとCAD研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/cg156.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/cg156.html</a>	7月6日(日)	当日のみ	中京大学 名古屋キャンパス
9月17日(水)	2014年度関西支部大会開催案内 <a href="http://kansai.ipsj.or.jp/2014sibutaikai_kaisai/">http://kansai.ipsj.or.jp/2014sibutaikai_kaisai/</a>	6月20日(日)	9月9日(火) 17:00まで	大阪大学 中之島センター
9月17日(水)	第34回組込みシステム研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/emb34.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/emb34.html</a>	7月22日(火)	当日のみ	札幌市男女共同 参画センター
9月18日(木) ~ 9月19日(金)	平成26年度(第67回)電気・情報関係学会九州支部連合大会開催案内 <a href="http://www.jceee-kyushu.jp/">http://www.jceee-kyushu.jp/</a>	7月15日(火)		鹿児島大学 郡元キャンパス
9月18日(木) ~ 9月19日(金)	第161回マルチメディア通信と分散処理・ 第65回電子化知的財産・社会基盤合同研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/dps161eip65.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/dps161eip65.html</a>	7月28日(月)	当日のみ	東海大学 熊本キャンパス
9月19日(金)	第58回高度交通システムとスマートコミュニティ研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/its58.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/its58.html</a>	7月11日(金)	当日のみ	鳥取大学 鳥取キャンパス
9月19日(金)	第39回バイオ情報学研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/bio39.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/bio39.html</a>	8月1日(金)	当日のみ	大阪大学 吹田キャンパス
9月25日(木)	連続セミナー 2014 第3回「モバイル・クラウド時代のソフトウェア開発技術」 <a href="http://www.ipsj.or.jp/event/seminar/2014/index.html">http://www.ipsj.or.jp/event/seminar/2014/index.html</a>		定員になり次第	化学会館 大阪大学中之島センター
9月25日(木) ~ 9月26日(金)	第100回数理モデル化と問題解決研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/mps100.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/mps100.html</a>	7月25日(金)	当日のみ	日本科学未来館
9月27日(土)	東海支部主催講演会「RoboCup2017名古屋に向けて」 <a href="http://www.ipsj-tokai.jp/">http://www.ipsj-tokai.jp/</a>		当日のみ参加無料 会員外の方も参加可 定員になり次第	愛知工業大学 本山キャンパス 化学会館
9月30日(火)	短期集中セミナー「画像・音声符号化伝送技術～最新線と標準化動向～」 <a href="http://www.ipsj.or.jp/event/s-seminar/2014/ITSCJ-MPEG/">http://www.ipsj.or.jp/event/s-seminar/2014/ITSCJ-MPEG/</a>			
10月2日(木) ~ 10月3日(金)	第146回ハイパフォーマンスコンピューティング研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/hpc146.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/hpc146.html</a>	7月25日(金)	当日のみ	沖縄産業支援センター
10月2日(木) ~ 10月3日(金)	第167回システムとLSIの設計技術研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/sldm167.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/sldm167.html</a>	7月31日(木)	当日のみ	東北大学
10月3日(金)	第95回デジタルドキュメント研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/dd95.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/dd95.html</a>	8月15日(金)	当日のみ	印刷博物館 グーテンベルクルーム
10月6日(月) ~ 10月7日(火)	第204回計算機アーキテクチャ研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/arc204.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/arc204.html</a>	8月8日(金)	当日のみ	ホテルニューオクタ
10月9日(木) ~ 10月10日(金)	第27回インターネットと運用技術・第11回セキュリティ心理学と トラスト合同研究会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/iot27spt11.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/iot27spt11.html</a>	8月20日(水)	当日のみ	岩手県立大学 アイーナキャンパス
10月11日(土) ~ 10月12日(日)	第126回コンピュータと教育研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ce126.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ce126.html</a>	8月28日(木)	当日のみ	奈良女子大学
10月14日(火) ~ 10月15日(水)	第160回ヒューマンコンピュータインタラクション・ 第44回ユビキタスコンピューティング合同研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/hci160ubi44.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/hci160ubi44.html</a>	8月14日(木)	当日のみ	沖縄科学技術 大学院大学
10月17日(金)	連続セミナー 2014 第4回「モバイル・クラウド時代を加速するIOT (Internet of Things)」 <a href="http://www.ipsj.or.jp/event/seminar/2014/index.html">http://www.ipsj.or.jp/event/seminar/2014/index.html</a>		定員になり 次第	化学会館 大阪大学中之島センター
10月18日(土)	第104回人文科学とコンピュータ研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ch104.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ch104.html</a>	8月11日(月)	当日のみ	関西大学
10月22日(水)	東海支部主催講演会「企業における自然言語処理技術の活用の現場」 <a href="http://www.ipsj-tokai.jp/">http://www.ipsj-tokai.jp/</a>		当日のみ参加無料 会員外の方も参加可	名古屋大学 東山キャンパス
10月22日(水) ~ 10月24日(金)	組込みシステムシンポジウム2014 <a href="http://www.sigemb.jp/ESS/2014/">http://www.sigemb.jp/ESS/2014/</a>	6月30日(月)		国立オリンピック記念 青少年総合センター
10月22日(水) ~ 10月24日(金)	コンピュータセキュリティシンポジウム2014 <a href="http://www.iwsec.org/css/2014/">http://www.iwsec.org/css/2014/</a>	7月28日(月)	9月29日(月)当日可 9月5日(金)まで 早期割引有り	札幌コンベンションセンター
10月24日(金) ~ 10月24日(金)	第103回音声言語情報処理研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/slp103.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/slp103.html</a>	9月10日(水)	当日のみ	NHK放送技術研究所 講堂
10月24日(金) ~ 10月25日(土)	第14回教育学習支援情報システム研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/cle14.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/cle14.html</a>	8月31日(日)	当日のみ	東北大学
10月25日(土)	高校教科「情報」シンポジウム2014秋 <a href="http://sigps.eplang.jp/">http://sigps.eplang.jp/</a>		定員になり次第	早稲田大学西早稲田 キャンパス55N号館 1階会議室
10月25日(土)	平成26年度(第65回)電気・情報関連学会中国支部連合 大会開催案内 <a href="http://rentai.fukuyama-u.ac.jp">http://rentai.fukuyama-u.ac.jp</a>	7月28日(月)		福山大学
11月7日(金) ~ 11月9日(日)	第19回ゲームプログラミングワークショップ2014 <a href="http://www.ipsj.or.jp/sig/gi/gpw/2014/">http://www.ipsj.or.jp/sig/gi/gpw/2014/</a>	7月21日(月)		箱根セミナーハウス

開催日	名称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
11月10日(月)～	第101回プログラミング研究発表会	9月12日(金)	当日のみ	東京大学
11月11日(火)	<a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/pro101.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/pro101.html</a>			
11月11日(火)	連続セミナー2014 第5回「モバイル・クラウド時代のデータプライバシー」		定員になり次第	化学会館 大阪大学中之島センター
	<a href="http://www.ipsj.or.jp/event/seminar/2014/index.html">http://www.ipsj.or.jp/event/seminar/2014/index.html</a>			
11月11日(火)	第116回情報基礎とアクセス技術研究発表会	9月22日(月)	当日のみ	筑波大学 東京キャンパス文京校舎
	<a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ifat116.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ifat116.html</a>			
11月13日(木)～	第186回ソフトウェア工学研究発表会	9月25日(木)	当日のみ	大阪大学 コンベンションセンター
11月14日(金)	<a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/se186.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/se186.html</a>			
11月19日(水)～	第7回Webとデータベースに関するフォーラム(WebDB Forum 2014)		8月22日(金)	芝浦工業大学 豊洲キャンパス
11月20日(木)	<a href="http://db-event.jpn.org/webdbf2014/">http://db-event.jpn.org/webdbf2014/</a>			
11月19日(水)～	第26回コンピュータシステム・シンポジウム	8月29日(金)		芝浦工業大学 豊洲キャンパス
11月20日(木)	<a href="http://www.ipsj.or.jp/sig/os/index.php?ComSys2014">http://www.ipsj.or.jp/sig/os/index.php?ComSys2014</a>			
11月20日(木)～	第157回グラフィクスとCAD・第194回コンピュータビジョンと	9月8日(月)	当日のみ	早稲田大学 西早稲田キャンパス
11月21日(金)	イメージメディア合同研究発表会			
	<a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/cg157cvim194.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/cg157cvim194.html</a>			
11月20日(木)～	第150回アルゴリズム研究発表会	9月12日(金)	当日のみ	大演信泉記念館
11月21日(金)	<a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/al150.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/al150.html</a>			
11月20日(木)～	第73回モバイルコンピューティングとユビキタス通信・	9月19日(金)	当日のみ	福岡大学
11月21日(金)	第59回高度交通システムとスマートコミュニティ合同研究発表会			
	<a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/mb173its59.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/mb173its59.html</a>			
11月21日(金)	第12回セキュリティ心理学とトラスト・第66回電子化知的財産・	9月21日(日)	当日のみ	新潟大学 駅南キャンパス 「ときめいと」
	社会基盤合同研究発表会			
	<a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/spt12eip66.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/spt12eip66.html</a>			
11月26日(水)～	第168回システムとLSIの設計技術研究発表会	9月7日(日)	当日のみ	ビーコンプラザ
11月28日(金)	<a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/sldm168.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/sldm168.html</a>			
11月27日(木)～	グループウェアとネットワークサービスワークショップ2014	9月12日(金)		ニューウェルシティ 湯河原
11月28日(金)	<a href="http://www.ipsj.or.jp/sig/gw/gnws2014/">http://www.ipsj.or.jp/sig/gw/gnws2014/</a>			
12月1日(月)	連続セミナー2014 第6回「アナリティクス適用事例」		定員になり次第	化学会館 大阪大学中之島センター
	<a href="http://www.ipsj.or.jp/event/seminar/2014/index.html">http://www.ipsj.or.jp/event/seminar/2014/index.html</a>			
12月4日(木)～	第7回インターネットと運用技術シンポジウム	9月11日(木)		立命館大学 びわこ・くさつキャンパス
12月5日(金)	<a href="http://iot.ipsj.or.jp/iots/2014/">http://iot.ipsj.or.jp/iots/2014/</a>			
12月8日(月)～	マルチメディア通信と分散処理ワークショップ	8月11日(月)		出雲・玉造温泉 ホテル玉泉
12月10日(水)	<a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/dpsws2014.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/dpsws2014.html</a>			
12月9日(火)～	第205回計算機アーキテクチャ・第147回ハイパフォーマンス	10月10日(金)	当日のみ	小樽経済センターホール
12月10日(水)	コンピューティング合同研究発表会			
	<a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/arc205hpc147.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/arc205hpc147.html</a>			
12月13日(土)～	人文科学とコンピュータシンポジウム「じんもんこん2014」		当日可	一橋講堂 / 国立情報学研究所
12月14日(日)	<a href="http://jinmoncom.jp/sympo2014/">http://jinmoncom.jp/sympo2014/</a>			

## 2015年

1月9日(金)～	第56回プログラミング・シンポジウム			ラフォーレ倶楽部 伊東温泉湯の庭
1月11日(日)	<a href="http://www.ipsj.or.jp/prosym/">http://www.ipsj.or.jp/prosym/</a>			
1月20日(火)～	The 8th International Conference on Mobile Computing and Ubiquitous			ロワジュールホテル函館
1月22日(木)	<a href="http://www.icmu.org/icmu2015/">http://www.icmu.org/icmu2015/</a>			
1月22日(木)～	ウィンターワークショップ2015・イン・宜野湾			カルチャーリゾート フェストーネ
1月23日(金)	<a href="http://www.sigse.jp/2015/">http://www.sigse.jp/2015/</a>			
1月26日(月)～	Annual Meeting on Advanced Computing System and	9月26日(金)		つくば国際会議場
1月28日(水)	Infrastructure (ACSI) 2015			
	<a href="http://acsi.hpcc.jp/2015/">http://acsi.hpcc.jp/2015/</a>			
2月3日(火)	ソフトウェアジャパン2015		1月26日(月)	タワーホール船堀
	<a href="http://www.ipsj.or.jp/event/sj/sj2015/">http://www.ipsj.or.jp/event/sj/sj2015/</a>			
3月17日(火)～	情報処理学会 第77回全国大会			京都大学 吉田キャンパス
3月19日(木)	<a href="http://www.ipsj.or.jp/event/taikai/77/">http://www.ipsj.or.jp/event/taikai/77/</a>			
9月15日(火)～	FIT2015 第14回情報科学技術フォーラム			愛媛大学 城北キャンパス
9月17日(木)	<a href="http://www.ipsj.or.jp/event/fit/fit2015/">http://www.ipsj.or.jp/event/fit/fit2015/</a>			

Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/>) 更新情報

## [トピックス]

- 8月20日 情報処理学会の認定情報技術者制度 (CITP) が日経 ITPro で紹介されました
- 8月15日 人材募集情報 (Vol.55 No.9)
- 8月15日 会誌「情報処理」Web カタログ (Vol.55 No.9)

# 人材募集 (有料会告)



**申込方法:** 任意の用紙に件名、申込者氏名、勤務先、職名、住所、電話番号および請求書に記載する「宛名」、Web掲載の有無などを記載し、掲載希望原稿（[募集職種、募集人員、(所属)、専門分野、(担当科目)、応募資格、着任時期、提出書類、応募締切、送付先、照会先]）を添えて下記の申込先へ、E-mail、Fax または郵送にてお申し込みください。

\*都合により編集させていただく場合がありますので、ご了承ください。

**申込期限:** 毎月15日を締切日とし翌月号（15日発行）に掲載します。

**掲載料金:** 国公立教育機関、国公立研究機関 税抜 20,000円（税込 21,600円）

賛助会員（企業） 税抜 30,000円（税込 32,400円）

賛助会員以外の企業 税抜 50,000円（税込 54,000円）

\*本会誌へ掲載依頼いただいた場合に限り、追加料金 税抜 4,000円（税込 4,320円）で同一内容を本会 Web ページに掲載できます。

**申込先:** 情報処理学会 会誌編集部（有料会告係） E-mail: editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8375

\*原稿受付の際には必ず原稿受領のお知らせを差し上げています。もし返信がない場合は念のため確認のご連絡をください。

## \*特に指定がないかぎり履歴書には写真を貼付のこと

### ■立命館大学情報理工学部

**募集人員** 任期制講師または助教 2名（任期：5年（再任不可））  
**専門分野** 画像・音・言語メディア技術、VR、HCI、その他のメディア情報技術に関する分野  
**担当科目** (1)「大連理工大学・立命館大学国際情報ソフトウェア学部」：パターン認識、ヒューマンインタフェースのうち1科目、(2)立命館大学情報理工学部：専門分野に関係した講義・実験・演習科目  
**応募資格** (1)着任時に博士の学位を有し、専門分野で優れた研究業績を有する方、(2)「大連理工大学・立命館大学国際情報ソフトウェア学部」で2年に1回程度、2カ月ないし1セメスターの間（秋セメスターまたは春セメスター）に日本語による講義を担当できる方、(3)本学および「大連理工大学・立命館大学国際情報ソフトウェア学部」での教育に熱意を持っている方、(4)日本語および英語での授業が可能なる方  
**着任時期** 2015年4月1日  
**応募締切** 2014年9月30日（必着）  
**送付先** 〒525-8577 滋賀県草津市野路東1-1-1 立命館大学情報理工学部事務室 情報理工学部教員任用人事係 「メディア情報学科 教員応募書類在中（大連）」と朱書き書留  
**照会先** 立命館大学情報理工学部事務室 担当：橋本・成瀬 E-mail: johokobo@st.ritsumei.ac.jp Tel(077)561-5202 なお、「大連理工大学・立命館大学国際情報ソフトウェア学部」に関しては、Web ページ (<http://www.ritsumei.ac.jp/ise/dairen/>) をご参照ください。本公募の詳細は、Web ページ ([http://www.ritsumei.jp/job/pdf/ise-youkou140709\\_04.pdf](http://www.ritsumei.jp/job/pdf/ise-youkou140709_04.pdf)) をご参照ください。

### ■北陸先端科学技術大学院大学情報社会基盤研究センター

**募集人員** 助授 1名（任期付）  
**専門分野および関連する主な職務** 情報社会基盤研究センター情報環境研究開発部門に所属し、大規模情報環境システム構築・運用におけるクラウドサービス、システムの検証等に関する研究開発、ならびに本学情報環境の中でのクラウドサービスおよびシステムの検証にかかわる情報システム構築・管理。本学情報科学研究科と連携し、教育研究の一部を担当することもあります  
**応募資格** 採用時に博士の学位を有し、本学の理念と目標に従って、熱意を持って大規模情報環境システム構築・運用に関する研究開発を推進するとともに、システム構築・運用に関連する実務に積極的に取り組んでいただける方。十分な日本語能力を有する方。本学の育児・介護期間の両立支援に対する取り組みについては、Web ページ (<http://www.jaist.ac.jp/jimu/syomu/koubo/WorkLifeBalance.htm>) をご参照ください  
**着任時期** 2015年4月1日、あるいはそれ以前のできるだけ早い時期  
**提出書類** (1)履歴書および学位証明書のコピー、(2)主な教育研究業績書、(3)研究活動およびセンター業務に関する今後の抱負等、(4)研究業績リスト、(5)応募者本人の連絡先（郵便宛先とE-mailアドレス）、(6)推薦書2通、または意見を伺える方2名の氏名・所属と連絡先（E-mailアドレス）、Web ページ ([http://www.jaist.ac.jp/jimu/syomu/koubo/pdf/isc\\_H260812.pdf](http://www.jaist.ac.jp/jimu/syomu/koubo/pdf/isc_H260812.pdf)) の作成上の注意事項に従ってご作成ください  
**応募締切** 2014年10月6日（当日消印可）  
**送付先/照会先** 〒923-1292 石川県能美市旭台1-1 北陸先端科学技術大学院大学 情報社会基盤研究センター長 金子峰雄  
E-mail: mkaneko@jaist.ac.jp Tel(0761)51-1276 「教員応募書類在中 情報社会基盤研究センター・助教」と朱書き簡易書留  
\* E-mail により提出された書類は受け付けません



## ■東京都市大学メディア情報学部情報システム学科

- 募集人員 教授、准教授または講師 1名(教授または准教授:任期なし、講師:原則として3年、再任用2年を限度とする。ただし、任期期間中の業績により、任期なしの専任教員として採用する場合あり)
- 専門分野 メディア処理技術応用(画像生成・可視化、画像と音の融合・人工現実感等体感理解・ロボットなどを用いたコミュニケーションシステム)
- 担当科目 コンピュータグラフィクス、可視化技法、マルチメディア情報処理、プログラミング、情報リテラシー等の科目、大学院講義(メディア情報処理技術)、事例研究、卒業研究
- 応募資格 (1)博士の学位あるいは同等の資格等を有し、大学院博士前期(修士)課程において授業担当教員となる方、(2)画像・映像・音などの情報処理を通して利用者側の観点に立って人に優しい人間調和型情報システムについて教育・研究のできる方、(3)メディア情報学部情報システム学科の理系の教育研究活動に理解があり、学生の指導・教育に熱意がある方
- 着任時期 2015年4月1日
- 提出書類 (1)履歴書(学会歴、社会歴、受賞歴含む)、(2)研究業績リスト(1.著書、2.査読付き学術論文、3.査読なし学術論文、4.依頼論文、5.国際会議発表論文、6.紀要、7.予稿あり研究発表、8.予稿なし研究発表、9.その他に分類の上、新しいものから順に記載してください)、(3)主要論文の概要(5編、各200字から400字程度で様式不問、別刷またはコピーを各1部添付)、(4)研究費の導入実績(文部科学省科研費その他:ある場合)、(5)応募理由および採用後の教育・研究に対する抱負(A4用紙2~3枚程度)、(6)照会可能な推薦者2名:推薦者の氏名、連絡先、所属および応募者との関係を記入、書式は随意
- 応募締切 2014年10月10日(必着)
- 送付先/照会先 〒224-8551 神奈川県横浜市都筑区牛久保西3-3-1 東京都市大学メディア情報学部情報システム学科  
主任教授 諏訪敬祐 E-mail: suwa@tcu.ac.jp Tel(045)910-2537 Fax(045)910-2608
- その他 詳細については、必ずWebページ(<http://www.tcu.ac.jp/recruitinformation/index.html>)を参照ください

## ■電気通信大学共通教育部情報部会

- 募集人員 教授 1名(常勤(任期:なし))
- 専門分野 学習支援システム学分野
- 担当科目 情報基礎科目(コンピュータリテラシー・基礎プログラミング)の企画・運営・講義担当、およびそれらの実施にかかわるLMSの運用、大学院情報理工学研究科総合情報学専攻・情報理工学部総合情報学科での研究指導および講義担当
- 応募資格 (1)博士の学位を有すること、(2)上記の専門分野において研究実績があり、同分野の発展に貢献できること、(3)情報基礎教育の経験がある、あるいは情報基礎教育を実施する十分な能力を持っていること、(4)LMSの運用およびLMSを基盤とする授業設計の経験がある、あるいはこれらを行う十分な能力を持っていること、(5)情報系・工学系の大学院生に向けた研究指導および講義を担当できること、(6)(1)~(5)を達成するのに十分な日本語能力を有していること
- 着任時期 2015年4月1日
- 提出書類 (1)応募申請書類(公募詳細Webページ(<http://www.uec.ac.jp/about/advertisement/>)参照のこと)、(2)専門分野に関連する主要著書・論文別刷(コピー可)、および主要論文の概要(5編程度)、(3)これまでの研究概要(A4用紙2枚以内、専門分野との関連を明示のこと)、(4)今後の研究計画概要(A4用紙2枚以内、専門分野との関連を明示のこと)、(5)研究・教育に関する経験や理念・抱負など(A4用紙1枚以内)、(6)参考となる意見を伺える方3名(国内外それぞれ1名以上を含む)のお名前、所属、連絡先住所(E-mailアドレスを含む)、および応募者との関係、(7)結果を通知するための返信用封筒(定型封筒に返信先を明記し、82円切手を貼ってください)
- 応募締切 2014年10月15日(必着)
- 送付先 〒182-8585 東京都調布市調布ヶ丘1-5-1 電気通信大学共通教育部 情報部会事務局 「情報部会教員応募書類在中」と朱書き簡易書留、発送の旨をE-mail: [akihiro.kashihara@inf.uec.ac.jp](mailto:akihiro.kashihara@inf.uec.ac.jp) までお知らせください
- 照会先 大学院情報理工学研究科 教授 柏原昭博 E-mail: [akihiro.kashihara@inf.uec.ac.jp](mailto:akihiro.kashihara@inf.uec.ac.jp)
- その他 公募の詳細はWebページ(<http://www.uec.ac.jp/about/advertisement/>)をご覧ください

## ■電気通信大学大学院情報理工学研究科

- 募集人員 助教 1名(常勤、任期:採用日から5年間)
- 所属 情報・通信工学専攻情報通信システムコース
- 専門分野 情報通信システムの効率・信頼性ならびに安全性解析
- 担当科目 情報通信システムコースに関連する実験と演習
- 応募資格 Webページ(<http://www.uec.ac.jp/about/advertisement/>)に記載
- 着任時期 2015年4月1日以降のできるだけ早い時期
- 提出書類 Webページ(<http://www.uec.ac.jp/about/advertisement/>)に記載
- 応募締切 2014年10月17日17時(必着)
- 送付先 〒182-8585 東京都調布市調布ヶ丘1-5-1 電気通信大学大学院情報・通信工学専攻 事務局 専攻長 教授 沼尾雅之
- 照会先 情報・通信工学専攻 来住直人 E-mail: [kishi@ice.uec.ac.jp](mailto:kishi@ice.uec.ac.jp)
- その他 詳細はWebページ(<http://www.uec.ac.jp/about/advertisement/>)に記載

## ■電気通信大学大学院情報理工学研究所

募集人員	テニユアトラック助教 1名(常勤)
所属	情報・通信工学専攻コンピュータサイエンスコース
専門分野	計算理論, 自然計算(量子計算, ニューラルネットワーク, 分子コンピューティングなど), 特に, これらの研究分野で, 理論計算機科学的視点から研究に取り組んでいる方が望ましい
応募資格	採用時に博士の学位を有しており, かつ, 上記募集分野において, 優秀な研究を推進していること, 博士号取得後10年以内であること, ポスドクの経験, またはそれに相当する経験を有することが望ましい
着任時期	2015年4月1日以降のできるだけ早い時期
提出書類	(1) 応募申請書類(履歴書, 研究業績リスト, ただし, 本学指定の様式あり, Webページ( <a href="http://www.uec.ac.jp/about/advertisement/pdf/ad_20140724.pdf">http://www.uec.ac.jp/about/advertisement/pdf/ad_20140724.pdf</a> )を参照のこと), (2) 主要著書, 論文別刷(5編, コピー可), (3) これまでの研究概要(A4用紙2枚以内), (4) 今後の研究計画概要(A4用紙2枚以内), (5) いままでの教育経験と教育に関する抱負(A4用紙2枚以内), (6) 参考となる意見を伺える方2名のお名前, 所属, 連絡先住所(E-mailアドレスを含む), および応募者との関係, (7) 上記(1)~(5)の原本一揃えとともに, それらをA4用紙(片面)にコピーしたもの1部を原本につけてください, (8) 選考結果のお知らせに使用しますので, 宛先を記した定形封筒(82円切手貼付)を添付してください
応募締切	2014年10月31日17時(必着)
その他	ご応募の際は, 必ず本募集に関する詳細をWebページ( <a href="http://www.uec.ac.jp/about/advertisement/pdf/ad_20140724.pdf">http://www.uec.ac.jp/about/advertisement/pdf/ad_20140724.pdf</a> )でご確認ください

## ■電気通信大学情報理工学部

募集人員	テニユア・トラック助教 1名(常勤)
所属	情報・通信工学専攻情報通信システムコース
専門分野	通信ネットワーク工学・情報ネットワーク工学
応募資格	(1) 採用時に博士の学位を有しており, かつ, 上記募集分野において, 優秀な研究を推進していること, (2) 自律して独創的な研究を行う能力を有すること, (3) 博士号取得後10年以内であること, (4) ポスドクの経験, またはそれに相当する経験を有することが望ましい, (5) 日本語により学生を指導できること
着任時期	2015年4月1日以降のできるだけ早い時期
応募締切	2014年10月31日17時(必着) 簡易書留で送付
照会先	情報・通信工学専攻 教授 大木 英司 E-mail: <a href="mailto:ejji.oki@uec.ac.jp">ejji.oki@uec.ac.jp</a> Tel(042)443-5195
その他	詳細は本学Webページ( <a href="http://www.uec.ac.jp/about/advertisement/pdf/ad_20140804.pdf">http://www.uec.ac.jp/about/advertisement/pdf/ad_20140804.pdf</a> )をご覧ください

## ■静岡理科大学総合情報学部コンピュータシステム学科

募集人員	講師または准教授 1名
専門分野	コンピュータネットワークの設計・管理・運用, および活用研究
応募資格	関連する専門分野の博士(またはPh.D.), またはそれに準ずる資格・経歴を有する方
着任時期	2015年4月1日
提出書類	履歴書, 研究業績リスト, 教育実績, 主要論文別刷(5編以内)など
応募締切	2014年10月31日(必着)
送付先	〒437-8555 静岡県袋井市豊沢2200-2 静岡理科大学 事務局総務課
照会先	コンピュータシステム学科長 教授 玉真昭男 E-mail: <a href="mailto:tam@cs.sist.ac.jp">tam@cs.sist.ac.jp</a> Tel(0538)45-0205
その他	詳細は本学Webページ( <a href="http://www.sist.ac.jp/">http://www.sist.ac.jp/</a> )をご覧ください

## ■大分大学学術情報拠点情報基盤センター

募集人員	准教授 1名
専門分野	計算機ネットワーク, クラウドコンピューティング, データベース, e-Learning システムなど
応募資格	博士の学位を有し, 基盤情報システム, 教育情報システムの設計, 構築, 運用を担当でき, 情報リテラシー教育に熱意を持ってあたる意欲がある方
着任時期	2015年4月1日以降のなるべく早い時期
提出書類	(1) 履歴書, (2) 調査書, (3) 教育研究業績書, (4) 主要業績別刷(5編以内, コピー可)およびその概要, (5) 教育に関する抱負, (6) システムの運用等に関する抱負, (7) 今後の研究計画, (8) 応募者について所見をうかがえる方(1名または2名)の氏名, 連絡先など
応募締切	2014年11月7日(必着)
送付先	〒870-1192 大分県大分市大字旦野原700 大分大学学術情報拠点長 「学術情報拠点教員応募書類在中」と朱書き簡易書留
照会先	教授 吉田和幸 E-mail: <a href="mailto:yoshida@oita-u.ac.jp">yoshida@oita-u.ac.jp</a> Tel(097)554-7874 Fax(097)554-7990
その他	本公募に関する詳細はWebページ( <a href="http://www.cc.oita-u.ac.jp/koubo.html">http://www.cc.oita-u.ac.jp/koubo.html</a> )をご覧ください

**情報処理学会 第 77 回全国大会**  
**【大会スローガン：社会に浸透し、社会を変革する ICT】**  
**一般セッション・学生セッション**  
**講演募集案内**

**【会期】2015年3月17日(火)～19日(木)**

**【会場】京都大学 吉田キャンパス**  
 (京都市左京区吉田本町)

共催：京都大学 大学院情報学研究所・学術情報メディアセンター

**第 77 回全国大会ホームページ**  
<http://www.ipsj.or.jp/event/taikai/77/>

情報処理学会では、第 77 回全国大会の一般セッション・学生セッションの講演申込受付を以下のとおり行います。毎回 1,200 件を超える発表申込を頂き活発な議論、意見交換、交流が行われております。皆様の研究成果発表の場として、是非とも奮って御申込下さい。

**【募集分野】**

以下の分野で募集を行う予定です。  
 詳しくは第 77 回全国大会ホームページをご覧ください。

1. コンピュータシステム
2. ソフトウェア科学・工学
3. データとウェブ
4. 人工知能と認知科学
5. ネットワーク
6. セキュリティ
7. インタフェース
8. コンピュータと人間社会

**【講演募集内容と使用言語】**

1. 全国大会にふさわしい内容を備えたものとします。  
 (情報技術の学術・技術の振興に寄与する研究成果の発表)
2. 発表は日本語または英語とします。

**【講演申込資格】**

申込種別	資格
一般セッション	不問
学生セッション	高専・大学学部・修士(博士前期課程)在学者

**【講演時間(質疑応答含む)、論文頁数】**

講演申込種別	講演時間	原稿頁
一般セッション	20 分	2 頁
学生セッション	15 分	2 頁

**【講演申込・原稿投稿日程】**

講演申込・原稿投稿受付開始：2014 年 9 月 8 日(月)  
 講演申込・修正・取消 締切日：2014 年 11 月 21 日(金)  
 原稿投稿・差換え締切日：2015 年 1 月 9 日(金)

**【講演申込・原稿投稿方法】**

講演申込、原稿投稿は、標記の第 77 回全国大会ホームページからお願い致します。

**【講演申込にあたっての注意事項】**

- \*講演申込は講演発表者ご本人様で行って下さい。
- \*講演申込締切後の申込情報変更は、一切受けません。
- \*講演の代理(代読)は原則として認めません。
- \*講演キャンセルの連絡は、必ず電子メールにて次のアドレスまでお願い致します。[ipsj77@gakkai-web.net]
- \*講演申込登録締切後に講演をキャンセルされましても、講演参加費および論文集代(希望者のみ)はお支払い頂くこととなりますのでご注意ください。

\*講演申込登録をされた情報のうち書誌情報(標題、講演者

および共著者の名前・所属、論文要旨)、および原稿は、情報処理学会電子図書館(情報学広場)に掲載いたしますので予めご承知置き下さい。なお、掲載時期は論文の公知日(大会初日)から3ヶ月経過以降の予定です。

**【講演参加費・講演論文集代(税込)】**

申込種別	会員種別	費用(税込み)
一般セッション 学生セッション (1件の申込につき)	正会員	10,300円
	学生会員	6,200円
	一般非会員	25,800円
	学生非会員	15,500円
講演論文集(希望者のみ)	全会員種別	8,300円

\*会員とは、講演者が 本会の会員番号をお持ちの個人会員の方です。但し本会に入会申請中の方も会員費用で申込みます。

\*本会に入会申請中の方は、講演申込締切の2週間前の11月7日(金)までに入会申請を完了してください。その後、約1～2週間後に会員サービス部門から「入会承認予定のお知らせ」(会員番号を記載)をメールでお送りしますので、そちらの案内に従って、第 77 回全国大会講演申込登録の登録内容を11月21日(金)までに修正をお願いいたします。期日までに入会申請がされていない場合は、入会申請中で講演申込をされても非会員の講演費を請求させて頂く場合があります。

\*電子情報通信、電気、映像情報メディア、照明の会員番号をお持ちの個人会員の方は会員費用で申込みます。

\*講演参加費には、講演料、全論文収録の DVD-ROM、大会参加費、本人論文の別刷り 50 部が含まれます。

\*講演者の方には、ご自身の論文が掲載されている講演論文集 1 部に限り、講演申込同時予約販売をいたします。ご希望の方は、講演申込フォームの講演論文集欄を「希望する」にチェックしてください。

\*上記の講演参加費は、1 件の申込に対しての費用ですので、複数件講演申込する場合には講演参加費×申込件数分の講演参加費が必要となります。

**【表彰について】**

全国大会では、発表された論文の中から優秀な論文、発表に対して以下の賞を贈呈しております。以下それぞれの賞の受賞対象は、当会の個人会員に限りますので、非会員の方は当会にご入会を頂き講演申込を頂くことをお勧め致します。

賞の種類	受賞者
大会優秀賞	全国大会で発表された当会の会員で、大会奨励賞の対象とならなかった方のうち、特に優秀な論文の登壇発表者 10 名以内。
大会奨励賞	全国大会で発表された当会の会員で、学部生または学部在学から卒業後 10 年までの新進の科学者または技術者の論文の登壇発表者 10 名以内。
学生奨励賞	全国大会で発表された当会の会員で、各学生セッションで発表された中から、優秀な発表 2 名以内に大会のローカルアワードとして授与(該当なしの場合もあり)。

**【講演機器】**

講演機器は、プロジェクターになります。接続ケーブルは、D-sub15 ミニピンです。ノート PC は、準備しておりませんので各自で必ずご持参願います。

**【大会最新情報の掲載】**

講演申込に関する詳細、大会で開催予定の招待講演、イベント企画セッション等の詳細は、第 77 回全国大会ホームページへ逐一掲載してまいりますので御確認下さい。

**【問合せ先】**

一般社団法人情報処理学会 事業部門  
 Tel.03-3518-8373 Fax.03-3518-8375  
 e-mail:jigy@ipsj.or.jp

# ご意見をお寄せください！

【10月10日頃までにお出しく下さい】

宛先 一般社団法人 情報処理学会 モニタ係（下記のいずれからも送付できます）  
http://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html Fax(03)3518-8375 E-mail: editj@ipsj.or.jp  
(E-mail で送信される場合は、10-1-a のようにコードでお答えください)  
※ ご意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いいたします。  
http://www.ipsj.or.jp/privacypolicy.html

[コード]

- (1) ご氏名
- (2) ご所属 Tel. ( ) -
- (3) E-mail:
- (4) 業種： (a) 企業（サービス業） (b) 企業（製造業） (c) 研究機関 (d) 教育機関（大学・高専など）  
(e) 学生 (f) その他 ..... 4- [ ]
- (5) 職種： (a) 研究職 (b) 開発・設計 (c) システムエンジニア (d) 営業 (e) 本社管理業務  
(f) 会社経営・役員・管理職 (g) 教職員（大学・大学院） (h) 教職員（小・中・高校・高専など）  
(i) 学生 (j) その他 ..... 5- [ ]
- (6) 年齢： (a) 10代 (b) 20代 (c) 30代 (d) 40代 (e) 50代 (f) 60代以上 ..... 6- [ ]
- (7) 性別： (a) 男性 (b) 女性 ..... 7- [ ]
- (8) あなたはモニタですか？： (a) はい (b) いいえ ..... 8- [ ]
- (9) あなたのご意見は「会員の広場」（会誌および Web）に掲載される場合があります。その場合：  
(a) 実名可（氏名のみ掲載） (b) 匿名希望 (c) 掲載を希望しない ..... 9- [ ]
- (10) 今月号（2014年10月号）の記事は良かったですか。下記の記事すべてについて評価をご回答ください。  
[ a…大変良い b…良い c…普通、どちらとも言えない d…悪い e…読んでいない ]
- 巻頭コラム：コンピュータサイエンスルネッサンス ..... 10-1- [ ]
- IT好き放題：「情報処理」という言葉 ..... 10-2- [ ]
- 特集：続・ソフトウェア工学の共通問題
1. 共通問題の作成 ..... 10-3- [ ]
2. PBLと共通問題 ..... 10-4- [ ]
3. 共通問題ショートエッセイ ..... 10-5- [ ]
4. 座談会 ..... 10-6- [ ]
- 特集：モノづくりの現在
1. ボクらはなぜ、作るのか ..... 10-7- [ ]
2. 研究者のモノづくり ..... 10-8- [ ]
3. 放課後のモノづくり ..... 10-9- [ ]
4. プロのモノづくり ..... 10-10- [ ]
5. 「作る」を作る ..... 10-11- [ ]
6. コメをカタチに ..... 10-12- [ ]
- 現場で活躍する 3D 計測技術 ..... 10-13- [ ]
- ビブリオ・トーク：ピープルウエア 第3版 ..... 10-14- [ ]
- 古機巡礼/二進伝心：オーラルヒストリー：石井善昭氏インタビュー ..... 10-15- [ ]
- 次世代 HTTP ストリーミング標準 DASH ..... 10-16- [ ]
- べた語義：なぜプログラミング教育が必要なのか ..... 10-17- [ ]
- べた語義：「IT 融合人材育成連絡会」での検討結果について ..... 10-18- [ ]
- べた語義：認定情報技術者制度 (3) ..... 10-19- [ ]
- 会誌編集委員会女子部 ..... 10-20- [ ]
- 会議レポート：ACM SIGIR 2014 参加報告 ..... 10-21- [ ]
- (11) 本号で最も良かった記事は何ですか？ 上記 (10) の設問の記事番号から1つだけ選び（例：10-8の記事の場合は「8」と記入）、その理由をご回答ください。上記に掲載されていない記事の場合はタイトルを直接ご記入ください。
- (11-1) 良かった記事 ..... 11-1- [ ]
- (11-2) この記事に対する貴方の立場： a) 専門家 b) 非専門家 ..... 11-2- [ ]
- (11-3) 選んだ理由（下記から、いくつでも選択可） ..... 11-3- [ ]
- a) 技術・研究動向がよく分かった b) 知的興味をかきたてられた c) 新たな知識を得ることができた d) 内容が平易で理解しやすかった  
e) その他（具体的に下記にご記入ください）

[12] 本号で最も良くなかった記事は何ですか？ 上記 [10] の設問の記事番号から1つだけ選び（例：10-8の記事の場合は「8」と記入），その理由をご回答ください。上記に掲載されていない記事の場合はタイトルを直接ご記入ください。

- [12-1] 良くなかった記事 ..... 12-1- [ ]  
[12-2] この記事に対する貴方の立場：a) 専門家 b) 非専門家 ..... 12-2- [ ]  
[12-3] 選んだ理由（下記から，いくつでも選択可）..... 12-3- [ ]  
a) 記事の内容に誤りがあった b) ありきたりの内容だった c) 記事が難しすぎた d) 何を言いたいのか分からなかった e) 宣伝の意図が強すぎる  
f) テーマに興味を持てなかった g) その他（下記に具体的に記入ください）

[13] 今月の特集に対する貴方の立場を教えてください。

- [13-1] 続・ソフトウェア工学の共通問題：a) 専門家 b) 非専門家 ..... 13-1- [ ]  
[13-2] モノづくりの現在：a) 専門家 b) 非専門家 ..... 13-2- [ ]

[14] 設問 [10] で読んでいないと答えた記事について，その理由を教えてください。

[15] 会誌に対するご意見や感想，著者への質問，巻頭コラムに登場してほしい人物，今後取り上げてほしいテーマなどありましたらご記入ください。（スペースが足りない場合はお手数ですが別紙を追加してください）

## 次号（11月号）予定目次

編集の都合により変更になる場合がありますのでご了承ください。

### 「特集」オリンピックのための情報処理

オリンピックが交通に及ぼす影響の予測／オリンピックにおける人の流れの解析／オリンピックのセキュリティ／オリンピックと放送技術—究極の臨場感を求めて—／オリンピックのITの歴史—ラジオ放送からインターネットまで—／オリンピックと次世代MPEG符号化—高能率から3Dフリーナビゲーションへ—／トップスポーツでの映像システム活用—トレーニング映像即時フィードバックシステムとスポーツ映像データベースを例として—／オリンピックに向けたハンマー投のサイバネティック・トレーニング／オリンピック招致のためのVR/MR／2020東京五輪の経済効果—観光振興・都市競争力強化に向けて—

### 「特集」モバイル時代のサービスを支える技術

次世代のモバイルネットワークはどうなるのか—5G無線アクセスとコアネットワーク—／コンシューマデバイスとパーソナルデータ収集の動向／M2Mの情報流／ビッグデータとのつきあい方—ビッグデータ活用のための技術と応用基盤—／多数のデータストリームを実時間で融合・編纂し活用するための次世代「情報流」技術—情報流キュレーション基盤実現に向けた課題抽出と取り組み—

教育コーナー：ぺた語義

連載：ビブリオ・トーク／会誌編集委員会女子部

コラム：巻頭コラム／シニアコラム：IT好き放題

電気工学は電気の工学、機械工学は機械の工学です。しかしソフトウェア工学はソフトウェアの工学かという微妙に違います。ソフトウェア工学はソフトウェアの開発、利用、進化の工学です。電気製品や機械製品は指させますが、直接見えないソフトウェアの、そのまた開発、利用、進化をやっていますといっても、微妙に理解しにくいでしょう。ソフトウェア工学という分野の分かりにくさ、そのことに対するコミュニティとしてのもどかしさがそこにあります。

リアルな世界と同じくらい大きな存在となっているサイバーな世界を支えているのがソフトウェアです。恐ろしく巨大で複雑になってしまったソフトウェアをどう開発、利用、進化させるかは紛れもなく重要な課題でしょう。そうした実務上の重要性に追い立てられて、すぐに役立つことがその評価の基準となってきたことも事実です。しかし研究コミュニティには萌芽的な研究も、基礎的な研究もあります。研究や技術をどう評価するか、それもコミュニティの大きな悩みです。

共通問題について2度目の特集をさせていただきました。1回目の特集では設計技法を比較するために30年前の本誌で特集された酒屋問題を振り返りました。そして本特集では、今後の共通問題の姿について考えました。共通問題は、そ

の分野が何をやっているのかを示す1つの切り口と考えます。また、研究の段階に応じた評価の題材にもなります。特集を2回に分けたのは、30年前の特集の形式になったということもありますが、共通問題を扱うからには存在感のある特集にしたいというコミュニティとしての思いの表れでもあります。

本特集の座談会で、ソフトウェア工学は現実世界をソフトウェアで写している、という指摘がありました。サイバーな世界の意味的な部分の多くはソフトウェアで構築されています。意味は扱う対象によって個別に違うので、その開発、利用、進化を論ずるためには対象を抽象化せざるを得ません。ソフトウェア工学では、メタだのフレームワークだのと、これまた分かりにくい用語が出てきます。本特集でも共通問題をフレームワーク化してしまいました。ある意味、分かりにくいかもしれませんが、こうした手法の活用がソフトウェア工学の姿なのだと感じていただければ幸いです。

末尾になります編集委員の皆様、および学会事務局の皆様には、2回の特集にわたって大変にお世話になりました。ありがとうございました。

(岸 知二、野田夏子／本特集ゲストエディタ)

今回の特集は、DIY から製造までのモノづくり分野、学会とは縁遠いと思われていた領域で、Make やハードウェアベンチャーを始めとするさまざまなムーブメントが起り、学会と周辺領域の距離がぐっと近づいていることにフォーカスしたものです。

こうした最新動向をまとめるために、現在のモノづくり系ムーブメントを牽引する第一人者達に執筆を依頼しました。その結果、エッジな現場にいる方々ならではの、ライブ感のある生き生きとした情報を集約できたと思います。

一方、すべての著者は研究者ではなく、今回のような原稿を書き慣れた方というわけではなかったのが、編集にはかなりの労力が必要でした。

たとえば、定期的な督促にもかかわらず、第一稿の締切前に届いた原稿は1本のみであり、1カ月後の第二稿締切でも2本しか集まらず、締切に比較的ルーズな私もさすがに焦りました。「今書いてます」「もうすぐです」「8割できてます」といった蕎麦屋の出前のようなやり取りが1週間以上続いたこともありました。私自身、普段は多くの場面で督促される側なのですが、これほどメール／Facebook／Twitter／電話を駆使して督促したのは初めてです。

内容についても、初稿の時点で素材は面白いのですが、学会誌に載せるためには論理展開が突飛だったり、用語定義が曖昧だったり、予備知識が十分でないと理解困難な文章が多く、時には構成も含めて大幅にリライトするケースもありました。著者の持

つ文体の味やライブ感を消さないように配慮しつつ、かなり手をかけて修正を行ったつもりです。各著者の方には本業でないにもかかわらず粘り強くご対応いただき、大変感謝しております。

このように、著者陣が持つ素晴らしい経験／情報を、いかに論理的に分かりやすく、その本質を伝えられるよう調理するかが今回の私の仕事でした。実際、今回の編集作業は2週間以上私のタスクリストの1位を占めており、その他の仕事にいろいろと影響もありました。

私自身は著者選択の時点から、編集に苦勞することは覚悟していたのである意味想定通りの展開でしたが、エディタの濱崎さん、事務局の守田さんには普段の特集とは異なる対応をお願いし、スケジュール面でも多大なるご迷惑をおかけしてしまいました。最後までお付き合いいただき、心から感謝しています（かくいうこの編集後記も入稿前日に書いております...）。

さて、本特集でもまとめたように、応用分野の研究者が学会等の研究者コミュニティだけを意識すればよい時代は終わりつつあります。Makeのような場を通してプレイヤーが圧倒的に増加し、ハードウェアベンチャーのように製品化までできる手段も急増しています。そのクオリティは研究者の提案と遜色ないことも多く、時に凌駕しています。これは研究者にとって厳しい状況でもあり、逆にチャンスでもあります。この状況を楽しめるような研究者でいたいと思います。

(塚田浩二／本特集ゲストエディタ)

広告のお申込み

■広告料金表

掲載場所	4色	2色	1色
表2	330,000円 (税込356,400円)	—	—
表3	275,000円 (税込297,000円)	—	—
表4	385,000円 (税込415,800円)	—	—
表2対向	300,000円 (税込324,000円)	—	—
表3対向	265,000円 (税込286,200円)	190,000円 (税込205,200円)	155,000円 (税込167,400円)
前付1頁	250,000円 (税込270,000円)	165,000円 (税込178,200円)	135,000円 (税込145,800円)
前付1/2頁	—	—	80,000円 (税込86,400円)
前付最終	—	—	148,000円 (税込159,840円)
目次前	—	—	148,000円 (税込159,840円)
差込 (A判70.5kg未満 1枚)	275,000円 (税込297,000円)		
差込 (A判70.5kg～86.5kg 1枚)	350,000円 (税込378,000円)		
同封 (A判 1枚)	350,000円 (税込378,000円)		

■「情報処理」

発行 一般社団法人 情報処理学会  
 発行部数 20,000部  
 体裁 A4判  
 発行日 毎当月15日  
 申込締切 前月10日  
 原稿締切 前月20日  
 広告原稿 完全版下データ  
 原稿寸法 1頁 天地260mm×左右180mm  
 1/2頁 天地125mm×左右180mm  
 雑誌寸法 天地297mm×左右210mm

■問合せ・お申込み先

〒169-0073 東京都新宿区百人町2-21-27  
 アドコム・メディア(株) (Tel/Fax/E-mailは下に記載)

\*原稿制作が必要な場合には別途実費申し受けます。  
 \*同封のサイズ・割引の詳細についてはお問合せください。

掲載広告の資料請求

掲載広告の詳しい資料をご希望の方は、ご希望の会社名にチェック☑を入れ、送付希望先をご記入の上、Faxにて（またはE-mailにて必要事項を記入の上）アドコム・メディア(株)宛にご請求ください。

■「情報処理」55巻10号 掲載広告（五十音順）

- |  |  |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> インタフェース …………… 表2        | <input type="checkbox"/> とめ研究所 …………… 前付2上        |
| <input type="checkbox"/> 講談社 …………… 前付2下          | <input type="checkbox"/> フォーラムエイト …………… 前付3      |
| <input type="checkbox"/> 高度情報科学技術研究機構 …………… 表2対向 | <input type="checkbox"/> ユーシーテクノロジー …………… p.1159 |
| <input type="checkbox"/> 国立情報学研究所 …………… 同封       |  |
| <input type="checkbox"/> 電子情報通信学会 …………… 前付最終上    | <input type="checkbox"/> すべての会社を希望               |

■資料送付先

フリガナ  
お名前 \_\_\_\_\_

勤務先 \_\_\_\_\_ 所属部署 \_\_\_\_\_

所在地 (〒 \_\_\_\_\_ ) \_\_\_\_\_

TEL ( \_\_\_\_\_ ) \_\_\_\_\_ - \_\_\_\_\_ FAX ( \_\_\_\_\_ ) \_\_\_\_\_

ご専門の分野 \_\_\_\_\_



お問合せ・お申込み・資料請求は  
 広告総代理店 **アドコム・メディア(株)**

Tel.03-3367-0571 Fax.03-3368-1519 E-mail: sales@adcom-media.co.jp



## 賛助会員のご紹介

本会をご支援いただいております賛助会員をご紹介します。

Web サイト (<http://www.ipsj.or.jp/annai/aboutipsj/sanjo.html>) 「賛助会員一覧」のページからも  
各社へリンクサービスを行っておりますので、ぜひご覧ください。

照会先 情報処理学会 会員サービス部門 E-mail: [mem@ipsj.or.jp](mailto:mem@ipsj.or.jp) Tel.(03)3518-8370

### ●●● 賛助会員 (20 ~ 50口)

**HITACHI**  
Inspire the Next


(株) 日立製作所

**FUJITSU**

富士通 (株)

**NEC**

日本電気 (株)

 **MITSUBISHI  
ELECTRIC**  
Changes for the Better

三菱電機 (株)

**TOSHIBA**

(株) 東芝

**IBM**

日本アイ・ピー・エム (株)

### ●●● 賛助会員 (10 ~ 19口)

**Google**<sup>™</sup>

グーグル (株)

 **GREE**

グリー (株)

**NTT docomo**

(株) NTT ドコモ

 **NTT**

日本電信電話 (株)

 **Microsoft**

日本マイクロソフト (株)

### ●●● 賛助会員 (3 ~ 9口)

**NTT data**

NTT データ (株)



NTTコムウェア

NTT コムウェア (株)

**OKI**

沖電気工業 (株)

**楽<sup>R</sup>天**

楽天 (株)

**JISA**

情報サービス産業協会

**uejima**

(株) うえじま企画

**SANBI**

三美印刷 (株)

**SONY**

ソニー (株)

**Panasonic**

パナソニック (株)

 **Plat'Home**

ぶらっとホーム (株)